

解答

一

- 問一 ① しい ② いえじ ③ まとはず〔れ〕 ④ ほうち ⑤ けっそう  
 ⑥ 模型 ⑦ 湯気 ⑧ 伝道 ⑨ 復興 ⑩ 勤〔める〕  
 問二 ① ころもへん ② イ  
 問三 ウ、カ  
 問四 ① エ ② ア  
 問五 14  
 問六 しない  
 問七 ア  
 問八 エ

二

- 問一 A イ B エ C ウ  
 問二 【ア】  
 問三 (1) Ⅲ (2) 前半：オ 後半：エ  
 問四 ア  
 問五 ウ  
 問六 イ (1) カルシウム不足  
 問七 (2) 伝統的な和食では、味噌や醤油などの大豆や小魚から十分なカルシウムをとることができるから。  
 問八 イ  
 問九 ア、ウ

三

- 問一 吉沢君に相談するところをだれかに見られなくなかったから。  
 問二 I エ II イ  
 問三 クラスの人たちがちゃんと合唱練習をしてくれるよう協力してほしいということ。  
 問四 ウ  
 問五 ④ クラスの人たちを、合唱練習に参加する気持ちにさせること。  
 ⑤ 歌  
 問六 あまりにもリアルでハードだ。  
 問七 ⑦ ア ⑧ エ  
 問八 つたない私達の歌  
 問九 エ  
 問十 ア  
 問十一 イ

解説

二

- 問七 (2) Ⅲの最後に「その昔の日本人は、味噌や醤油などの大豆から、十分なカルシウムをとっていたのでしよう」とあります。また、少し先に「欧米風の食事になれてしまった日本人は、大豆や小魚などを食べつけなくなった」ことも原因と述べられています。

三

- 問三 クラスの人たちがちゃんと合唱練習をしてくれないことに佐和子が悩んでいることを吉沢君はわかっていて、相談を言いだせないでいる佐和子に「俺、みんなと一緒にふさげているけど、中原のこと本当、かわ

いそうだなあって思ってたんだ」と、佐和子の相談の内容を理解してくれています。